



本日 第2140回 2015年2月20日(金) No. 2026

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:古橋エツ子 君

点 鐘

卓話者: "

ロータリーソング 「我等の生業」

演 題: 「日本を意識する時」

前 回 第2139回 2015年2月13日(金) 記 録

○斉 唱: 「それでこそロータリー」

○ゲスト: 一般社団法人 尾張旭青年会議所

理事長 青山 誠様

一般社団法人 尾張旭青年会議所

専務理事 谷口 可愛様

瀬戸信用金庫 営業推進部 資産・経営

相談グループ 次長 酒向 清治様

○来訪者: 瀬戸北RC 中野 昭雄君

出席者: 会員24名中20名出席 出席率83.33%

前々回補正出席率 1月30日分95.83%

会長あいさつ 古橋 裕志

一月のロータリー理解推進月間、今月は世界理解月間と指定され、会員および一般の方々にもロータリーとしての活動を理解していただく重要な月間でもあります。月間中のクラブは世界平和に不可欠な理解と親善を強調したプログラムと活動を実施するようにと要請されています。

それらの活動例としてWCSプロジェクト、青少年交換留学生、米山奨学生の受け入れ、GSE（研究グループ）チームの交換、その他ポリオ撲滅運動、飢餓、保健、水、識字率向上等、様々な活動があり、国際奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、職業奉仕、ロータリー財団等各委員会にまたがり、クラブとしての理解と活動の場が求められています。

また、2月23日はRI創立記念日にあたり、1905年2月23日にポール・ハリスを始め4人の方々シカゴにて、初めて会合を開いた日でもあります。

この日は世界理解と平和の日と定められ、友情と平

和へのロータリーの献身を求め、この一週間を「世界理解と平和の週間」と呼びロータリーの奉仕活動を強調することを決議されました。いづれにしても我々の活動は平和の上に成り立っており、世界の各地の紛争が1日も早く解決され、そのためにも、我々人間はその国の成り立ち、宗教、文化、歴史と史実を知る事が重要だと思います。

歴史とは、その国の成り立ちから、現在までの年号と出来事を知る年表であり、史実とはその年号にあった出来事の真実を知る事でお互いの気持ちを理解できるのではないかと思います。

なお、次年度のRIテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。そのプレゼントとはロータリアンとしての気持・奉仕・活動ではないでしょうか

幹事報告

・2/6 第11回理事役員会 於商工会館 古橋裕志会長以下11名出席

・2/7 鍋を囲む会 於玉翠 古橋裕志会長以下11名参加

・2/10 地区ロータリー財団補助金セミナー 於名古屋東急ホテル 古橋エツ子会長エレクト、飯田幸雄次年度ロータリー財団委員長、森井副幹事、加藤清久地区補助金委員出席。

・2/10 一般社団法人尾張旭青年会議所様との懇親会 於四季亭 JC様4名 RC5名の参加でした。

・本日の会合: なし

・次回の会合: なし

・例会変更のお知らせ: 掲示板をご覧ください。

世界理解月間

	2月27日(金)	3月 6日(金)	3月13日(金)	3月22日(日)
例会予定	卓話担当者: 箕輪良孝君 卓話者: " 演題: 「ロータリークラブあれこれ!」	卓話担当者: OFDY委員会 卓話者: 古橋エツ子 OFDY委員長 演題: 「OFDY月間に因んで」	卓話担当者: 山田直樹 国際奉仕委員長 卓話者: 地区国際奉仕委員 山田 拓 様 演題: 「識字率と地区国際奉仕委員会の活動」	20日(金) 振替 (東尾張分区) インターシティ・ミーテング 12RC合同例会 於ウェスティンナゴヤキャッスル 13:30 受付 14:00 開会

ニコボックス

○お世話になります（瀬戸北RC） 中野 昭雄君
○一般社団法人 尾張旭青年会議所 理事長 青山
誠様、同じく専務理事 谷口 可愛様、ようこそおい
出いただきました。歓迎いたします。

古橋 裕志君、加藤 清久君、桜井 雅博君、
高島 昇君、西尾 輝久君、丹羽 敏行君、
箕輪 良孝君、森井 晴生君、山田 直樹君

○今日の卓話をよろしく願いいたします。

浅野 善吉君

○瀬戸信用金庫 営業推進部 次長 酒向 清治様よ
うこそ、お話を楽しみにしています。古橋 裕志君

加藤 清久君、高島 昇君

○地区ロータリー財団補助金セミナーに出席し、森井
さんにお世話になりました。飯田 幸雄君

○尾張旭JCの皆さん、先日の懇親会楽しかったです。
また、機会ををみて一緒にしたいですね。会長にはご
馳走になりました。ありがとうございました。

仲澤 昌容君

○事務局の三浦さん、元気を出して頑張ってください。

江尻 豪君

○お忙しの君

舟橋 龍秀君

尾張旭青年会議所表敬訪問



△理事長 青山誠様挨拶 △専務理事 谷口可愛様(右)

卓話 (6日)

「ウクライナの国の紹介」

ランディシェーパー オリアナ



私は、ウクライナ人です。日本に来て16年になります。ウクライナ人は尾張旭市に一人しかいません。今日はウクライナについて紹介をしたいと思います。

ところで、皆さんはウクライナに行かれたことはありますか？国土はほとんど肥沃な平原、草原、高原で占められています。ドニエプル川、ドネツ川、ドニエスル川が横切っており、南のブース川とともに、黒海、アゾフ海にそそぎこんでいます。黒海の北には、クリミヤ半島が突き出しています。気候は厳しいです。冬は日中でも氷点あたりが、最高気温なので、寒く厳しいです。北部では-10度にもなります。暖くなる事はありません。南部は、わずかに暮らしていける気温になります。夏は北部では、15～25度になり、涼しく過ごしやすいです。南部は、もう少し暖かくなります。

・ウクライナの建国

1991年8月24日ソビエト連邦から独立。現在人口は5000

万人。面積は日本の1.6倍。首都はキエフです。私の生まれたところは、ドネツィクです。両親もここに住んでいます。

①マレーシア航空機墜落事件の起きた場所はドネツクの西のほうです。

②チェルノブイリ原発事故の起きた場所は、ウクライナの北のチェルノブイリです。

③ヤルタ会談の行われたクリミヤ半島は、先ほど説明した所です。

・有名人では大鵬です。お父さんはウクライナ人です。

大鵬さんは2002年に父の国ウクライナを訪れ、大鵬幸喜杯を設け、相撲の普及に尽し、2011年にウクライナから友好勲章をもらった。大鵬の銅像が、黒海沿岸のオデッセ市にあります。お父さんが100年前にサハリンに向けて蒸気船が出港したところです。（抜粋）

卓話 (13日)

「瀬戸信用金庫の地域支援

～せとしんプロボノプロジェクト～

瀬戸信用金庫 営業推進部 資産・経営相談グループ
次長 酒向 清治

当金庫の地域支援活動「せとしんプロボノプロジェクト」について紹介します。同プロジェクトは地域の課題をビジネスの手法で解決しようとするNPO等ソーシャルビジネス



事業者支援のため、当金庫職員が仕事で培った知識や経験を活かすボランティア「プロボノ」として半年間の支援プログラムを実施するものです。

近年、行政が共助社会や市民活動を推進している事からNPO等ソーシャルビジネス活動を志向する方が多く見られます。しかし一般的な事業と違い受益者負担の原則が成立しないことが多く事業化ベースになりにくいといった特徴があります。そのためソーシャルビジネス支援においては“時間を持ち寄るボランティア”、“お金を持ち寄る寄附”で支えるのに加え、最近では“スキルを持ち寄るプロボノ”で支える活動も注目されており、パナソニック・デンソー等、大手企業で社員教育と地域貢献を目的として取り組む企業が増えています。

同プロジェクトは今年度で2年目の取組で、参加者は1年目27名、2年目37名となっています。支援先を公募選出し、有機野菜宅配事業・障がい者福祉事業支援事業・就労移行支援事業・教育事業の支援をしてきました。支援内容は事業者の活動によってもたらせる社会的価値を貨幣価値に換算して定量的に示すSROI（社会的投資収益率）の算出です。主な活動内容としては、月1回業後に事業者も交え調査内容やアンケート項目の検討・貨幣価値換算の算出根拠等について定例ミーティングを行って、最終月には広く聴講者を募集して成果発表会（1年目は115名が参加）を行っています。このプロジェクトで得られたものとして、支援先にとっては自分たちの活動が「社会的に意義がある！」ではなく、「投資効果が2倍」と言うように活動結果が明確に示せる事、当金庫にとっては「若手の積極性や世代を越えた繋がりを醸成できた」「新しい地域貢献の形」といった事が成果であると感じます。